

肝付町と南種子町は、平成25年7月に、共にロケット基地を有する宇宙の町としてのご縁で、宇宙兄弟を宣言し、教育文化をはじめ多面的な交流を積極的に推進し、国際化に対応する宇宙の町づくりを進めるなど、多くの交流をさせて頂いて来たところでございます。

今年度、宣言から10周年を迎え、大変うれしく思います。

そして、宇宙開発の発展が、世界中の人々から注目され、高い評価を受けておりますことは、私どもの誇りでもあります。

ロケットの打ち上げについては、苦難の状況にありましたが、H-IIAロケット47号機の打ち上げも成功し、



南種子町長
小園 裕康

▶南種子町はこんなところ

南種子町は、温暖な気候に恵まれていることから、コンヒカリの出荷が国内で一番早い稲作が盛んに行われています。鉄砲伝来の地として、また種子島宇宙センターが所在するなど歴史と未来が共存する町でもあります。

▶南種子町の人口 令和5年9月30日現在

- ・人口 5,299人
- ・男性 2,653人 / 女性 2,646人
- ・世帯数 2,904世帯

南種子町・肝付町 両町長よりごあいさつ



肝付町長
永野 和行

▶肝付町はこんなところ

本土最南端の鹿児島県大隅半島南東部に位置し、総面積は308.12平方キロメートルと広大です。平均気温は17度前後、降水量は2,700ミリメートル以上で極めて温暖多雨な気候で、一部にはピロウ・ソテツの自生北限があり亜熱帯の特徴を示しています。

▶肝付町の人口 令和5年9月30日現在

- ・人口 14,038人
- ・男性 6,911人 / 女性 7,127人
- ・世帯数 7,576世帯

南種子町と肝付町は、日本の宇宙開発を担う施設を有しており、日本の宇宙開発を支えてまいりました。数多くの研究者や従事者を迎え、寄り添い、ともに歩んできた歴史は、私どもの誇りでもあります。

今、世界中で宇宙開発に経済活動や豊かな社会生活の活路を見出そうとする動きがあります。人間社会を豊かにするためデジタルトランスフォーメーションもロケットで打上げられた人工衛星なくして、成り立ちません。また一方で、私たちも少子高齢化社会を迎え、地域衰退の打開策として、

南種子町と肝付町は、た観光や産業振興を模索しています。ロケット打ち上げに際し、今では、地域浮揚までも願うようになりました。

南種子町には、肝付町にない素晴らしいものがたくさんあります。種子島宇宙センターや鉄砲伝来の地といった観光資源のほか、温暖な気候を活かした農林水産業、そして古くから黒潮文化により育まれた、伝統的な人情味溢れるすばらしい風土です。これからも友好を深めながら様々な交流を行い、南種子町と肝付町の発展につなげていきたいと考えています。



”宇宙兄弟”宣言 10周年記念 南種子町・肝付町 広報紙合同増刊号

JAXAのロケット打ち上げ施設がある肝付町と南種子町が友好都市提携「宇宙兄弟」を宣言し、今年で10周年を迎えました。

そんな両町の節目の年に友好と交流をより深めることを目的とした特別増刊号を発刊しました。

広報みなみたねと広報KIMOTSUKIのコラボレーション企画で、JAXA施設はもちろんのこと、お互いの歴史や特産物、観光スポットなど、それぞれの魅力を深掘りします。

CONTENTS / 目次

南種子町・肝付町
両町長よりごあいさつ ----- p.3

“宇宙兄弟”宣言10周年
～友好と交流の歴史～ ----- p.4, 5

JAXA施設紹介
・種子島宇宙センター ----- p.6
・内之浦宇宙空間観測所 ----- p.7

町を深掘り
〈観光編〉 ----- p.8, 9
〈歴史編〉 ----- p.10, 11
〈特産物編〉 ----- p.12, 13

アクセスマップ ----- p.14
ふるさと納税、編集後記 ----- p.15